

令和元（2019）年度事業報告

《公益目的事業Ⅰ：日本及びアジア地域のジェンダー問題に関する 調査研究、国際交流等を通じて女性の地位向上を図る事業》

【概況】

アジア女性交流・研究フォーラム（KFAW）は、平成2年10月に設立、平成5年10月に労働省（現厚生労働省）の認可を受けて財団法人となり、平成25年4月1日に内閣府の認定を受けて公益財団法人に移行した。設立以降、女性の地位向上及び男女共同参画社会の形成の推進を図るため、さまざまな活動を展開してきた。

令和元年度は、調査・研究事業として、2組の客員研究員研究を選考するとともに、アジアジェンダー研究者セミナーを実施した。また、交流・研修事業として、「アジア女性会議ー北九州」、「第63回国連女性の地位委員会（CSW63）帰国報告会」を開催したほか、高校生のための男女共同参画に関する啓発事業や、開発途上国の行政官のための国際研修を実施した。総じて事業は順調に遂行されたが、令和元年度末には新型コロナウイルス感染症拡大のため、事業遂行が困難になる事態が生じた。

1 調査・研究事業

KFAW 客員研究員による調査研究を行うとともに、研究報告会の開催や研究誌の刊行によって研究成果を公開、市民等と共有した。また、KFAW アジアジェンダー研究者ネットワーク活動を充実させるとともに、キャリア形成のためのプログラム開発などを行った。

（1）客員研究員研究

KFAW の調査・研究事業については、客員研究員への委託による時宜に適した調査研究を実施した。令和元年度は2組の客員研究員研究を選考した（調査期間：令和元年度～令和2年度）。

ア R1/R2年度 KFAW客員研究員と研究テーマ

(ア) 開発・発展における家族の変容：国際比較に向けた基礎的研究

(株) エムアンドワイコンサルタント コンサルタント 蜂須賀 真由美
福岡県立大学准教授 佐野 麻由子

(イ) 地方公共団体によるパートナーシップ制度の現状と今後

鹿児島大学法文学部法経社会学科教授 原田 いづみ
鹿児島大学法文学部法経社会学科准教授 大野 友也

イ 研究誌の刊行

KFAW 客員研究員等の論文を収録した研究誌『アジア女性研究』及び『KFAW 調査研究報告書』を刊行した。

- ・ 『アジア女性研究』第29号 500部

- ・ 『KFAW 調査研究報告書』 各 100 部
 - 2019-1 地方議会の女性議員増加をめざして一日・台統一地方選挙時の比較調査からー
 - 2019-2 女性視点のキャリア形成促進に向けた研究ー福岡県と鹿児島県におけるインタビュー調査を基礎としてー
 - 2019-3 DV 被害を受けた母親と子どもへの支援に関する実証的研究ー日本とシンガポールの実践を通して

ウ 研究報告会の開催

第 31 回 KFAW 研究報告会を 3 月 28 日（土）に開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染症対策のため、延期することとした。

(2) KFAW アジアジェンダー研究者ネットワーク活動

ア アジアジェンダー研究者によるセミナーの開催

ジェンダーに関するさまざまな分野の研究者や実務者が、アジア地域を中心とする研究の成果を共有するため、市民向けのセミナーを開催するとともに KFAW アジアジェンダー研究者ネットワーク活動の充実を図った。

(ア) 令和元年度第 1 回 KFAW アジアジェンダー研究者ネットワークセミナー

- ① テーマ 「世界女性会議（北京）がもたらしたもの、そして今」
- ② 日時 令和元年 9 月 19 日（木）13:30～15:00
- ③ 場所 北九州市立男女共同参画センター・ムーブ
- ④ 講師 堀内光子（(公財)アジア女性交流・研究フォーラム理事長）
- ⑤ 参加者 36 名
- ⑥ 内容 「ジェンダー」と「エンパワーメント」に大きく焦点を当て、世界中の女性に大きなインパクトを与えた第 4 回世界女性会議（北京）から 25 年を迎える 2020 年を前に北京会議がもたらしたもの、そして今の状況をわかりやすく解説。

(イ) 令和元年度第 2 回 KFAW アジアジェンダー研究者ネットワークセミナー

セミナー「女子差別撤廃条約と SDGsージェンダー格差 先進国最下位から脱却するにはー」を 3 月 22 日（日）に開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染症対策のため、延期することとした。

イ アジアジェンダー研究者による共同研究

九州内のジェンダー研究者のネットワーク活動によって、共同研究を行うことを目的に、アジアジェンダー研究者ネットワーク会議を開催した。

ウ キャリア形成のためのプログラム開発

大学生の卒業後の働き方や自己実現のために、男女共同参画や女性活躍の視点も踏まえ開発した「女子学生のためのキャリア形成プログラム」を改訂し、市内 5 大学で 11 回講義を行った。

2 交流・研修事業

「第30回アジア女性会議―北九州」やワールドリポートセミナー「女子差別撤廃条約のより深い理解のために」などを開催した。

(1) 「アジア女性会議―北九州」等の国際セミナーの開催

ア アジア女性会議―北九州

「みんなでつくろう、未来」～北京女性会議から25年を控えて～をテーマに、アジア女性会議-北九州を開催した。基調講演ではパトリシア・リクアナン氏に、北京会議開催から現在にいたるまでの道のりをご講演いただき、その後3つの分科会に分かれて、市民社会組織及び市民とディスカッションを行った。

(ア) 国際シンポジウム『第30回アジア女性会議―北九州』の開催

- ① 日時 令和元年10月19日(土) 10:00-16:30
- ② 場所 北九州市立男女共同参画センター・ムーブ
- ③ 参加者 150名
- ④ 基調講演 パトリシア・リクアナン(元国連女性の地位委員会議長、前フィリピン政府高等教育委員長(高等教育大臣))
- ⑤ KFAW 海外通信員による現地報告
 チョエク(ブータン:第28期海外通信員)
 マリスナ・ユリアンティ(インドネシア:第24,27期海外通信員)
- ⑥ 分科会
 - ・第1分科会「働くということ」
 モデレーター:田村 慶子(北九州市立大学 法学部教授)
 専門家:堀内 光子
 - ・第2分科会「地球で生きる」
 モデレーター:近藤 倫明(北九州市立大学 特任教授)
 専門家:織田 由紀子(JAWW(日本女性監視機構)副代表)
 - ・第3分科会「未来を考える(ユース対象)」
 モデレーター:甲木 正子(西日本新聞社グループ経営委員会兼経営企画局)
 専門家:パトリシア・リクアナン
- ⑦ 全体会
 - 第1分科会報告者 田村 慶子
 - 第2分科会報告者 近藤 倫明
 - 第3分科会報告者 甲木 正子
 - 総括 パトリシア・リクアナン
 - コーディネーター 堀内 光子
- ⑧ 報告書の作成
 『第30回アジア女性会議―北九州 報告書』

イ 国際理解促進事業

世界経済フォーラムが発表するジェンダーギャップ指数において常にアジアの最上位であるフィリピンのジェンダーアドバイザー、セシリア・ファンタスティコ氏を招聘して、フィリピンのジェンダー平等の現状や日本に対する提言等を広く市民に知ってもらうためのセミナーを開催した。

また、ジェンダー主流化研修を受講するために来日中の JICA 研修員（行政官）を招聘し、市民との交流事業を実施した。

(ア) 第 63 回国連女性の地位委員会（CSW63）帰国報告会

① テーマ CSW63 について

＜優先テーマ＞ 「ジェンダー平等及び女性と女児のエンパワーメントのための社会保護システム、公共サービス及び持続可能なインフラストラクチャーへのアクセス」

＜レビューテーマ＞ 「女性のエンパワーメントと持続的な開発の関連性」

② 日時 令和元年 6 月 13 日（木） 18:30～20:00

③ 場所 北九州市立男女共同参画センター・ムーブ 5F 大セミナールーム

④ 講師 堀内光子(KFAW 理事長)

木下彰子（国際ゾンタ 26 地区ガバナー）

⑤ 参加者 47 名

(イ) 国際理解セミナー「アジアで最も男女平等が進む国・フィリピン 講演会」

① 日時 令和 2 年 1 月 18 日（土） 13:30～15:30

② 場所 北九州市立男女共同参画センター・ムーブ 5F 大セミナールーム

③ 講師 セシリア・ファンタスティコ（フィリピン/ジェンダーアドバイザー）

④ 参加者 51 名

(ウ) 国際理解セミナー「のびのび communication ～国とジェンダーをこえて～」

① 日時 令和 2 年 2 月 9 日（日） 13:00～16:00

② 場所 北九州市立男女共同参画センター・ムーブ 5F 大セミナールーム

③ プログラム

【第 1 部】大学生による「SDGs について」他プレゼンテーション

JICA 研修員（行政官）（5 ヶ国/10 人）によるリレートーク

【第 2 部】ワールドカフェ（30 分×2 回）

テーマ ① あなたが感じる身近なジェンダーに関するエピソード

② 皆が生きやすいジェンダー平等の社会とはどのようなものか

④ 参加者 82 名

ウ 高校生向け男女共同参画意識の啓発

SDGs 目標 5「ジェンダー平等の実現」に視点を据えた、高校生のための啓発講座を実施した。

(ア) 自由ヶ丘高校でのプログラム

【第 1 回】

① 日時 令和元年 7 月 5 日（金） 13:50～15:40

② 内容 JICA「行政官のためのジェンダー主流化政策」研修員との意見交換会

- ③ 参加者 2年生 総合的学習「SDGs～ジェンダー平等学習グループ」 52名

【第2回】

- ① 日時 令和元年7月24日(水) 14:00～17:00
② 内容 SDGs ～ジェンダー平等 (講義とグループワーク)
③ 講師 甲木正子 (西日本新聞社 グループ経営委員会兼経営企画局)
④ 参加者 44名

【第3回】

- ① 日時 令和元年8月29日(木) 9:00～11:30
② 内容 学習成果発表会
③ 講師 指導担当 川本教諭ほか
④ 参加者 52名

(イ) 高校生キャリア形成セミナー

気ままにセミナー 「Let's think 人生すごろく」 & 「大切にしよう、自分のこと」(八幡西生涯学習総合センター、北九州市立大学、北九州市立ユースステーションとの共同実施)

- ① 日時 令和元年8月18日(土) 14:00～16:30
② 場所 八幡西生涯学習総合センター 大会議室
③ 講師 眞鍋和博(北九州市立大学教授) 及び眞鍋ゼミ大学生
黒瀬まり子(臨床心理士)
④ 内容 ・大学生の制作した「人生すごろく」ゲームを通じて SDGs 及びジェンダー平等について理解を深める
・デートDVと性暴力について正しい知識を身に付ける
⑤ 参加者 高校生 37名(公募)

(2) 海外拠点ネットワークの形成

SDGs 達成への取り組みを通じて、目標5(ジェンダー平等及び女性・少女のエンパワーメント)を主とした海外拠点ネットワーク形成を目指し、国際研修事業で研修員を受け入れている、ブータン国女性・子ども国家委員会主催の年次総会に参加し、両国における女性と子どもの状況を共有した。

(3) 海外派遣

令和2年3月にニューヨークで開催された第64回国連女性の地位委員会(CSW64)への参加登録の機会を当財団の関係者等に提供した。(資格取得人数14名)

しかし、開会直前に新型コロナウイルスの感染拡大を受け、CSW64は、開会式及び政治宣言採択の一日のみの手続き会合になるとともに、国連から本国からの参加自粛要請が発せられたこと、加えてサイドイベント・パラレルイベントはすべて中止されたために、資格取得者の参加は中止された。

3 情報収集・発信事業

情報誌『Asian Breeze』の発行、ホームページ、Facebook や海外通信員などを活用しながら、女性に関する情報収集やフォーラムの活動についての情報発信を行った。

(1) 情報誌『Asian Breeze』等の発行

主にアジア・太平洋諸国の女性に関する情報やフォーラムの活動を広く国内外に情報発信し、ジェンダー問題に対する理解の浸透を図っていくため、情報誌『Asian Breeze』（日本語・英語版）を発行した。

また、KFAW の年間事業報告書『平成 30（2018）年度 年報』を発行した。

ア 情報誌『Asian Breeze』の発行

(ア) 発行部数・発行回数・時期

第 86 号 令和元年 8 月（日本語版 1,500 部、英語版 500 部）

第 87 号 令和 2 年 2 月（日本語版 1,500 部、英語版 500 部）

(イ) 送付先 市内公共施設のほか、国内・海外女性関連団体及び研究機関、在日大使館、国連機関、国際関係団体など

イ 年間事業報告書の発行

KFAW の年間事業報告書『平成 30（2018）年度 年報』を発行した。

(ア) 発行部数 300 部

(イ) 発行時期 令和元年 8 月

ウ ホームページ、Facebook アクセス件数 403,075 件
(内訳) ホームページ（日/英） 171,781 件
Facebook（日/英） 231,294 件

(2) 海外通信員事業

アジア・太平洋諸国を中心とした海外における女性の状況について情報収集を行うためにも、アジア・太平洋諸国在住者を中心に海外通信員を公募し、現地の最新情報をレポートした。通信員から提出されたレポートは、『Asian Breeze』やホームページ、Facebook などに掲載した。

(ア) 人数 4 カ国 4 名（パキスタン、スリランカ、バングラデシュ及びネパール）

(イ) 任期 令和元年 7 月～令和 2 年 3 月

(ウ) レポート回数等 レポート：2 回
ウェブ会議システムによる各国現状報告会議への参加：1 回

4 国際研修事業

JICA研修 行政官のためのジェンダー主流化政策 2019

開発途上国における女性・少女のエンパワーメントや男女共同参画社会の実現に向けたジェンダー主流化の政策立案、推進が可能な行政官を育成していくため、国際研修「行政官のためのジェンダー主流化政策 2019」を2回実施した（独立行政法人国際協力機構九州センター（JICA九州）からの受託事業）。

ア 研修概要

<行政官のためのジェンダー主流化政策 2019 (A) >

- (ア) 期間 令和元年6月12日(水)～7月10日(水)
- (イ) 場所 独立行政法人国際協力機構九州センター 他
- (ウ) 研修員 6カ国9名（アフガニスタン、コソボ、パキスタン、マラウイ、ブータン、カンボジア）

<行政官のためのジェンダー主流化政策 2019 (B) >

- (ア) 期間 令和2年1月16日(木)～2月12日(水)
- (イ) 場所 独立行政法人国際協力機構九州センター 他
- (ウ) 研修員 5カ国9名（チリ、エジプト、パレスチナ、フィジー、モルディブ）

イ 市民交流会の開催

研修員と学生や市民との市民交流会を開催した。

<行政官のためのジェンダー主流化政策 2019 (A) >

市民交流会

自由ヶ丘高校2年生と研修員との交流会（前述2(1)ウ(ア)①）

- (ア) 日時 令和元年7月5日（金）13：50～15：40
- (イ) 場所 自由ヶ丘高校
- (ウ) 参加者 52名

<行政官のためのジェンダー主流化政策 2019 (B) >（前述2(1)イ(ウ)）

国際理解セミナー「2020のびのび Communication ～国とジェンダーをこえて～」

- (ア) 日時 令和2年2月9日（日）13:00～16:00
- (イ) 場所 北九州市立男女共同参画センター・ムーブ 5F 大セミナールーム
- (ウ) 参加者 82名

《公益目的事業Ⅱ：男女共同参画に関する事業を通じて男女共同参画社会の形成を推進する事業》

【概況】

アジア女性交流・研究フォーラムは、平成23年度から北九州市立男女共同参画センター・ムーブに加え、北九州市立東部勤労婦人センター（レディスもじ）及び北九州市立西部勤労婦人センター（レディスやはた）の管理運営等を指定管理者として行っている。さらに、平成28年度から引き続き、令和2年度まで新たに5年間の指定管理の指定を受けている。令和元年度の事業実施に当たっては、これまで北九州市立男女共同参画センターの管理運営で培った経験や東部及び西部勤労婦人センターの実績や地域との関係を踏まえ、男女共同参画社会の推進を担う拠点施設3館を有機的に連携させながら各種事業を実施した。なお、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、ムーブ、レディスもじ、レディスやはたは、令和2年3月4日から3月31日まで、臨時休館となった。

1 指定管理事業

(1) 男女共同参画センター管理運営業務

男女共同参画社会の形成に向けて各種男女共同参画事業等を実施するとともに、「ムーブフェスタ2019」の開催、相談事業、情報事業、施設管理業務を行った。

また、KFAWで開発したキャリア形成プログラムを、KFAWの成果を活かして、平成28年度からムーブで実施している。

ア 男女共同参画等事業（23事業、参加延人数7,292名）

(ア) ジェンダー問題講座（5事業、参加延人数2,564名）

男女共同参画に関する講座、講演会、シンポジウムを開催し、ジェンダーをめぐる諸問題について啓発を行い、取り組みを促進した。

① 男女共同参画講座

(a) 「女性の力を社会に活かす～市長を二期務めた経験から～」

講師：白井 文（前尼崎市市長）

(b) ムーブ・レディス映画祭～大切なあなたへ～

映画『万引き家族』上映会&小倉昭和館館主樋口 智巳さんによるお話

② おとこのライフセミナー

「私は仕事も家庭も決してあきらめない」

講師：佐々木 常夫（株佐々木常夫マネージメント・リサーチ社長）

③ キャリア形成プログラム

(a) 西南女学院大学

実施回数：2回

講師：松本 幸一（九州国際大学法学部准教授）

山脇 直祐（NPO 響都創研代表）

(b) 九州国際大学

実施回数：5回

講師：松本 幸一（九州国際大学法学部准教授）

大島 まな（九州女子大学人間科学部長）

山脇 直祐（NPO 響都創研代表）

(c) 九州女子大学

実施回数：1回

講師：大島 まな（九州女子大学人間科学部長）

山脇 直祐（NPO 響都創研代表）

(d) 九州女子大学

実施回数：1回

講師：湯浅 壘道（情報セキュリティ大学院大学学長補佐・情報セキュリティ研究科教授）

(e) 九州共立大学

実施回数：2回

講師：松本 幸一（九州国際大学法学部准教授）

山脇 直祐（NPO 響都創研代表） ほか

(イ) 就業支援講座（12事業、参加延人数 3,808名）

女性のキャリアアップや経済的自立に向けたチャレンジ、また働き続けることを支援するため、キャリア意識の醸成や就業に係わるスキルの向上を図る講座、就業の機会を拓げるための再就職、起業等に関する講座を開催した。

- ① 働く女性のためのステップアップ講座、フォローアップセミナー、ムーブカフェ
- ② 働く女性に贈る！お役立ちワンポイントセミナー
- ③ 夫婦会議体験講座
- ④ 資格取得講座（介護事務講座、医療事務講座など）
- ⑤ パソコン講座 ほか

(ウ) 生活技術講座（6事業、参加延人数 920名）

男女の性別役割分担意識にとらわれずに、生活面でのあらゆる分野で学習、研究することにより、その技術の習得を図った。

- ① 男性向け講座（エプロン男子、介護男子）、おとこの魅力アップシリーズ（アイロン男子、時短料理男子、靴磨き男子、どんぶり男子、片付け男子）
- ② いまどきママのリフレッシュ講座 ほか

イ 市民活動支援・連携事業（4事業、参加延人数 564名）

さまざまな活動を行っている団体やグループの情報交換、交流を促進し、ネットワーク化を図ることによって、男女共同参画センターを利用する個人、団体、グループが相互に新たな発見をし、男女共同参画社会の形成を目指すための自主的・創造的な活動ができるよう支援・連携して事業を展開した。

(ア) 相談

こころと生き方の一般相談・性別による人権侵害相談・女性のための元気アップ相談
男性のための電話相談・弁護士による無料法律相談

(イ) 講座（4講座、参加延人数 89名）

- ① 女性のための法律基礎講座
- ② 男性のための法律基礎講座
- ③ 女性への暴力ゼロ運動特別講座
- ④ 対人援助職者セミナー

(ウ) ホットライン（相談件数 18件）

福岡県弁護士会北九州部会との共催で弁護士、子ども・家庭相談コーナー相談員、配偶者暴力相談支援センター相談員、ムーブ相談員が女性の人権に関する相談に直接電話で応じた。

- ・女性への人権侵害相談ホットライン【内閣府「男女共同参画週間」事業】
- ・女性への暴力ゼロ！ホットライン

(エ) グループ相談（参加述べ人数 52名） 全7回（前期4回・後期3回）

女性のためのグループワーク

「私がわたしのベストフレンド～しなやかな自分のつくり方～」

講師：黒瀬まり子（臨床心理士 ムーブ特別相談員）

(オ) 自助グループへの支援（支援グループ数 4）

会場及びロッカーの提供、託児、グループ運営上のアドバイス等の支援を行った。

(カ) その他啓発

- ① パネル展示「ワリかん！？ワリとかんたん！？男と女のいい関係」
- ② パネル展示「デートDVについて知ろう！」（2回実施）
- ③ 「女性に対する暴力をなくす」運動街頭啓発キャンペーン

カ 情報事業

(ア) 情報収集提供事業

男女共同参画社会の実現に向けて、ジェンダー問題に関する図書や資料等の収集・提供を行うとともに、絵本等の読み聞かせ会を開催した。また、市内等で活動している団体やムーブの施設・講座等の情報をホームページ、Facebook やムーブメール等により提供した。

① 図書・資料等の収集

ジェンダー問題関連の図書を中心に、行政資料、雑誌、児童書、DVD 等の収集・提供の充実を図った。

(a) 蔵書数（令和2年3月31日現在）

図書 56,417 冊、雑誌 5,259 冊、DVD 110 本

② 図書・資料等の提供（貸出等）

図書やDVD等の貸出・返却及び利用者並びに資料の登録・検索、統計資料の作成等に関する管理を北九州市立図書館とオンライン化した電算システムで行った。また、北九州市立図書館共通図書カードにより貸出を行うとともに、北九州市の各図書館との相互貸借も行った。

- (a) 図書情報室利用状況（平成31年4月～令和2年2月27日）
貸出冊数 39,165 冊、貸出者数 14,354 人
- (b) 親子を対象に絵本や紙芝居の読み聞かせをする「おはなし会」 ほか
- ③ 男女共同参画関連情報の収集・提供
 - (a) 団体情報（ムーブネット）の収集提供
男女共同参画社会の実現のために市内及び近郊で活動している団体（グループ）の情報を情報システム「ムーブネット」により管理・提供した。
・登録件数 79 件（令和2年3月31日）
- ④ その他の情報提供
 - (a) ホームページ・Facebook
ムーブの講座、イベント、図書、貸室などの最新情報を随時更新し、ホームページ等で提供した。
・ホームページ、Facebook アクセス件数（平成31年4月～令和2年3月31日）
ホームページ 227,510 件 Facebook 17,078 件
 - (b) ムーブメール（メールマガジン）
ムーブの講座・イベントなどの最新情報を掲載したメールマガジン「ムーブメール」を月1回配信した。
・ムーブメール登録者数 374 人（令和2年3月31日現在）
- (イ) 調査研究事業
 - ① ジェンダー問題調査・研究支援事業
 - (a) 令和元年度ジェンダー問題調査・研究支援事業
ジェンダー問題を自主的に調査研究し、その問題解決を図るための糸口を見出そうと取り組んでいる市民グループ・研究者グループ等を支援するために、その調査費の一部（上限30万円）を助成。研究結果については、令和2年3月に報告書を発行した。
・テーマ：「北九州地域における“ひきこもり・生きづらさに悩む女性”に関する調査・研究」
・研究団体名：市民グループ 北九女子一歩会
 - (b) 第22回ジェンダー問題調査・研究報告会（ムーブフェスタで実施）（参加人数47名）
・日時：令和元年7月12日（金）19:00～20:30
・テーマ：「SNS時代におけるオリンピック報道～選手のダイバーシティはいかに表象されたか～」
・報告者：小林 直美（愛知工科大学 工学部 准教授）
・コメンテーター：藤山 新（首都大学東京 ダイバーシティ推進室 特任研究員）
 - ② ジェンダーに関する「ムーブ叢書」の発行事業
 - (a) ムーブ叢書 冊子『中高年のあなたに～必要とされているあなたの力～』
中高年向けに、①家庭における男性の自立、仕事で培ったさまざまな能力を生かして地域活動への参画、②地域活動への女性の参画、リーダーシップをテーマに、手にしてもらいやすいデザインによるムーブ叢書を発行した。
・発行部数 3,000 部
・体裁等 A5 版（無料）

(b) 「北九州市の男女共同参画統計データ」新規項目データを作成し、ホームページに掲載した。

・データ数 10件

③ 男女共同参画に関する啓発事業（参加人数 高校生 37名）

(a) 『大切にしよう、自分のこと』—デートDVと性暴力—

平成30年度に発行したムーブ叢書『大切にしよう、自分のこと。』の啓発事業として、高校生を対象にしたセミナーに併せて講演会を開催した。

・日時：令和元年8月18日（日）16：00～16：30

・講師 黒瀬 まり子 氏（ムーブ叢書監修者、臨床心理士、ムーブ相談室特別相談員）

(ウ) 広報事業

① 情報誌『ムービング』の発行

(a) 発行日 88号 令和元年6月10日
89号 令和元年10月1日
90号 令和2年2月29日

(b) 発行部数 各号6,500部

② 書誌情報誌『カテイング・エッジ』の発行

(a) 発行日 66号 令和元年6月10日
67号 令和元年10月1日
68号 令和2年2月29日

(b) 発行部数 各号3,000部

キ 施設管理業務

市民が安心して安全に利用でき、さらに利用しやすい施設とするため、環境面にも考慮しつつ計画的かつ効率的な設備の充実・改修を行った。

また、視察の受入れなど、他都市等との連絡調整を行った。

(ア) 施設維持管理業務

安全・安心の観点から、施設・設備の定期的な保守点検や計画的な補修等を行うとともに、防災研修（消防訓練、AED操作研修等）などの職員研修を実施した。

また利用者から要望のあった、老朽化した音響設備等の改修を実施した。

(イ) 貸室業務

主催事業で利用しない施設について、市民グループ・企業等に貸出しを行った。（原則有料）

・令和元年度貸室利用人数 113,881人

《参考：総利用者数 209,222人（うち主催事業参加延人数 95,341人）》

(ウ) その他

① 視察受入れ

他都市等からの視察を受入れ、事業説明・意見交換や施設見学を行った。

・視察件数 8件、延人数 39人

② 講師派遣

各団体からの依頼に応じ、ハラスメント防止や男女共同参画等について講師を派遣し、講演・研修を実施した。

・派遣件数 13件、延人数 1,434人

(うち 7 件 270 人 ハラスメント出前講座)

(2) 勤労婦人センター管理運営業務

男女共同参画社会の形成に向けて、各種男女共同参画事業等を実施するとともに、開館記念行事の開催や、施設の管理業務を行った。

【レディスもじ】

ア 男女共同参画等事業 (4 事業、参加延人数 260 名)

男女共同参画に関する講座、講演会、映画祭を開催し、健康等、様々な視点からジェンダーについて、わかりやすく啓発を行った。

(ア) ジェンダー問題講座 (4 事業、参加延人数 260 名)

- ① ムーブ・レディス映画祭「海よりもまだ深く」
- ② セルフ・ディフェンス講座「女性のための防護術」
- ③ 心理学講座「ホッとして、ココロが軽くなる講座」

ほか

(イ) 男性セミナー (2 講座、参加人数 28 名)

- ① 男性料理講座「男のコーヒー学」
- ② 男性料理講座「男めし～カフェ風ワンプレートごはん～」

イ 就業支援講座 (16 事業、参加延人数 2,241 名)

女性の経済的自立へのキャリアアップ講座、就業・再就職講座等を実施した。

(ア) キャリアアップ講座 (2 事業、参加延人数 203 名)

働く女性の就業能力向上を目的とする講座や資格取得に関する入門講座等を実施した。

- ① 行政書士入門講座
- ② ファイナンシャル・プランナー入門講座

(イ) パソコン講座 (10 事業、参加延人数 1,367 名)

- ① ワード・エクセル基礎・応用・実践講座
- ② ワード・エクセル活用講座
- ③ ゼロからはじめるパソコン講座

ほか

(ウ) 資格取得講座 (3 事業、参加延人数 655 名)

女性のライフプランやキャリアプランも多様化していることから、様々な資格取得講座を実施した。講座終了後には追跡調査を実施し、就職状況等で効果の検証を行った。

- ① 調理師受験準備講座
- ② ファイナンシャル・プランニング 3 級検定講座
- ③ ファイナンシャル・プランニング 2 級検定講座

(エ) その他 (1 事業、参加人数 16 名)

- ① 働く人のための「味噌作り」講座

ウ 生活技術講座（16事業、参加延人数 539名）

(ア) 子育て支援事業（2事業、参加延人数 58名）

男女が固定的な性別役割分担意識にとらわれずに、生活面のあらゆる分野に関する技術を親子で習得することを目的として講座等を実施した。

- ① 親子ワクワク講座
- ② ベビーマッサージ講座

(イ) 生活技術講座（14事業、参加延人数 481名）

家族の健康、家庭生活（料理）、英会話などをテーマとして、時代に即した話題で生活の充実を目的とした講座を開催した。

- ① 英会話講座
- ② 季節の寄せ植え講座
- ③ パステルアート講座
- ④ アロマ講座
- ⑤ 味噌づくり講座
- ⑥ パン教室講座
- ⑦ 料理講座
- ⑧ 帯バック手作り講座
- ⑨ 認知症講座

ほか

エ リプロダクティブ・ヘルス/ライツ事業（7事業、参加延人数 221名）

女性の多様な活動を支えるために、心と身体の健康を家族や職場など日常生活の中で、自分の力を維持増進できるように、技術と知識の習得の機会を提供する「リプロダクティブ・ヘルス/ライツ」に関する講座等を開催した。

- ① 女性のための東洋医学入門講座
- ② 骨盤調整体操
- ③ 食養生薬膳
- ④ 東洋医学

ほか

オ 市民活動支援・連携事業（11事業、参加延人数 1,427名）

(ア) 市民企画事業（7事業、参加延人数 388名）

男女共同参画の啓発と市民団体の育成を図ることを目的として、レディスもじを活用し、男女共同参画に関連する事業を実施する団体との共催により事業を行った。

- ① 「新春落語寄席」
- ② 「二胡 コンサート」

ほか

(イ) 友の会育成事業（1事業、参加延人数 800名）

市民の自主的、主体的な活動を支援するとともに、男女共同参画の理解と利用者相互の親睦を深め、生き生きとした活動が実施できるような友の会の指導育成を図った。

- ① 開館 32 周年記念 第 32 回フェスティバル ほか

(ウ) 国際交流事業（1事業、参加人数12名）

モンゴルの代表的な料理を調理し、食文化を通して、異文化交流を図る事業を実施した。

① モンゴル料理講座

(エ) 託児ボランティア・図書ボランティア（2事業、参加延人数227名）

再就職や社会参画を希望する育児中の能力開発等が行える環境整備として、託児業務を託児サークルの協力を得て実施した。また、情報資料室では、図書ボランティアの協力を得て、多くの情報を提供した。

① 託児ボランティア「ママサポートりぼん」

② 図書ボランティア「リブロ」

カ 開館記念講演会（1事業、参加人数329名）

レディスもじの開館記念事業として、男女共同参画の理念と実践をわかりやすく語ってもらう講演会を実施した。

(ア) 開館32周年記念講演会「京都寂庵での瀬戸内寂聴先生との日々」

講師：瀬尾 まなほ（瀬戸内寂聴氏秘書）

キ 相談事業（2事業、相談延人数26名）

(ア) 女性のための相談室

(イ) 女性のための無料法律相談

ク 情報提供事業（1事業）

女性に関する情報、就職に関する情報及び勤労婦人センターや男女共同参画センターの事業に関する情報など、市民にとって有益で活用を図ることのできる情報提供をホームページ等で行った。また、レディスもじでは、情報資料室を設置しており、図書ボランティアの協力も得て、図書の貸出し事業を行っている。

・貸出冊数 984冊

【レディスやはた】

ア 男女共同参画等事業（13事業、参加延人数392名）

男女共同参画に関する講座、講演会、ワークショップを開催し、健康、ワーク・ライフ・バランス、ライフイベントリー、男性やメディアの視点等、様々な視点からジェンダーについて、わかりやすく啓発を行った。

(ア) ジェンダー問題講座（9事業、参加延人数242名）

① 知って得する！セルフディフェンス

② 女性学講座

③ 自分と向き合うストレスケア法

④ コミュニケーション術講座「自分を知ることから始まる話し方」

⑤ メディアリテラシー「女性とメディア」

⑥ ジェンダーワークショップ「女性防犯セミナー」

⑦ DV防止セミナー「自分の身を守るために」

⑧ 男女共同参画啓発講座「SDGsとジェンダー」

⑨ ムーブ・レディス映画祭「家族はつらいよ」

(イ) ワーク・ライフ・バランス推進講座（2事業、参加延人数24名）

① ワークライフバランスセミナー「女性のための働き方講座」

② ライフインベントリーセミナー「幸せ因子をみつけよう！」

(ウ) 男性セミナー（2事業、参加延人数126名）

① 男性料理教室「和食でメンズご飯！」

② 男性料理教室「メンズご飯！美味しくなる裏ワザ」

イ 就業支援講座（21事業、参加延人数2,452名）

起業して経済的に自立するためのチャレンジを支援する起業家支援やキャリアアップ講座、就業・再就職講座等を実施した。

(ア) 起業家支援講座（3事業、参加延人数183名）

起業のために必要な専門知識や方法を学ぶ講座を通して、起業に向けた支援を実施した。

① レディス工房ハンドメイド講座 前期

② レディス工房ハンドメイド講座 後期

③ カフェのつくり方講座

(イ) キャリアアップ事業（1事業、参加延人数143名）

働く人の就業能力向上を目的として、能力向上を図る講座や資格取得に関する入門講座を実施した。

① 宅地建物取引士入門講座

(ウ) 就業継続支援事業（1事業、参加延人数39名）

① ワードとパワポで仕事に役立つ資料の作り方

(エ) パソコン（8事業、参加延人数845名）

① 就職希望者のためのワード・エクセル基礎講座（水曜コース）

② 就職希望者のためのワード・エクセル基礎講座（日曜コース）

③ 就職希望者のためのワード・エクセル応用講座（水曜コース）

④ 就職希望者のためのワード・エクセル応用講座（日曜コース）

⑤ 魅せるパワーポイント 初級

⑥ 魅せるパワーポイント 中級

⑦ まずは基本からエクセル関数講座

⑧ 仕事効率アップ！エクセル活用術講座

(オ) 資格取得講座（6事業、参加延人数1,225名）

ライフプランやキャリアプランが多様化していることから、様々な資格取得講座を実施した。講座終了後には追跡調査を実施し、就職状況等で効果の検証を行った。

① 社会保険労務士試験対策講座

② 宅地建物取引士試験対策講座

③ 日商簿記3級検定講座

- ④ 硬筆 3 級書写技能検定講座
- ⑤ CSエクセル 3 級検定講座
- ⑥ CSエクセル 2 級検定講座

(カ) 再就職支援事業 (2 事業、参加延人数 17 名)

- ① 就業サポートセミナー
- ② 再就職準備セミナー

ウ 生活技術講座 (10 事業、参加延人数 366 名)

(ア) 子育て支援事業 (6 事業、参加延人数 165 名)

男女が固定的な性別役割分担意識にとらわれずに、生活面のあらゆる分野に関する技術を親子で習得することを目的として講座等を実施した。

- ① 親子でメカホッパーづくり！1
- ② 親子でメカホッパーづくり！2
- ③ 親子で作ろう！クリスマスのパステルアート
- ④ リトルシェフ パティシエに習うバレンタイン・スイーツ
- ⑤ わらべの日 親子クッキング 英語で和食！
- ⑥ わらべの日 子どもと一緒にフラダンス

(イ) 生活技術事業 (4 事業、参加延人数 201 名)

食や趣味をとおして豊かで健康的な生活を送るための講座を実施した。

- ① 季節の変わり目に体調を整える 春の薬膳料理教室
- ② 心と体を温める 冬の薬膳料理教室
- ③ 美文字〜くせ字よさよなら〜
- ④ 家族で学ぼう！ベビーマッサージ

エ リプロダクティブ・ヘルス/ライツ事業 (5 事業、参加延人数 746 名)

女性の多様な活動を支えるために、心と身体の健康を家族や職場など日常生活の中で、自分の力を維持増進できるように、技術と知識の習得の機会を提供する「リプロダクティブ・ヘルス/ライツ」に関する講座等を開催した。

(ア) 健康講座

- ① 骨盤調整ピラティス講座 ①
- ② 骨盤調整ピラティス講座 ②
- ③ 骨盤調整ストレッチ講座 ①
- ④ 骨盤調整ストレッチ講座 ②
- ⑤ 骨盤体操

オ 市民活動支援・連携事業 (11 事業、参加延人数 2,414 名)

さまざまな活動を行っている団体やグループの情報交換、交流を促進し、ネットワーク化を図ることによって、勤労婦人センターを利用する個人、団体、グループが相互に新たな発見をし、男女共同参画社会の形成を目指すための自主的・創造的な活動ができるよう支援・連携して事業を展開した。

(ア) 市民企画事業 (6 事業、参加延人数 462 名)

男女共同参画の啓発と市民団体の育成を図ることを目的として、レディースやはた舞台ホールで市民団体と連携して事業を実施した。

- ① 狂言「萩大名」
- ② 狂言「柿山伏」①
- ③ 狂言「柿山伏」②
- ④ 狂言「柿山伏」③
- ⑤ ムーブフェスタへの参加
- ⑥ 能舞台で二胡の調べを

(イ) 友の会育成事業 (2 事業、参加延人数 1,767 名)

市民の自主的、主体的な活動を支援するとともに、男女共同参画の理解と利用者相互の親睦を深め、生き生きとした活動が実施できるよう友の会の指導育成を図った。

- ① レディースやはたフェスティバル
- ② 利用者バスハイク「千草ホテルテーブルマナーを学ぼう」

(ウ) 国際交流事業 (1 事業、参加延人数 32 名)

外国及び日本の伝統文化や食を通して、市民が気軽に参加できる市民レベルでの相互交流と相互理解を促進する事業を実施した。

- ① 国際親睦交流「親子でクッキング 英語で和食！」

(エ) 託児ボランティア (2 事業、参加延人数 153 名)

再就職や社会参画を希望する育児中の能力開発等が行える環境整備として、託児業務及び託児サポーターの養成などの事業を託児サークルの協力を得て実施した。

- ① 託児ボランティア「えくぼの会」
- ② 保育サポーター養成講座

カ 開館記念講演会 (1 事業、参加人数 98 名)

レディースやはたの開館記念事業として、男女共同参画の理念と実践をわかりやすく語ってもらう講演会を実施した。

(ア) 開館 42 周年記念講演会 「絆～自分らしい生き方と支えあう喜び」

講師：山本 カヨ 氏 (キャスター)

キ 相談事業 (2 事業、相談延人数 30 名)

- (ア) 女性のための相談室
- (イ) 女性のための無料法律相談

ク 情報提供事業 (3 事業)

女性に関する情報、就職に関する情報及び勤労婦人センターや男女共同参画センターの事業に関する情報など、市民にとって有益で活用を図ることのできる情報提供をホームページ等で行った。

(ア) 男女共同参画啓発

パネル展示「お母さんが語る女子差別撤廃条約」

「デートDVについて知ろう！」

「ワリかん！？～ワリとかんたん！？男と女のいい関係。～」

- (イ) ひまわり文庫・雑誌貸出し 267冊
- (ウ) レディスやはた通信（年間5回発行）

【勤労婦人センター管理業務】

市民が安心して安全に利用でき、さらに利用しやすい施設とするため、環境面にも考慮しつつ計画的かつ効率的な設備の充実・改修を行った。

ア 施設維持管理業務

安全・安心の観点から、施設・設備の定期的な保守点検や計画的な補修を行うとともに、防災研修（消防訓練、AED操作研修等）などの職員研修を実施した。

イ 貸室業務

主催事業で利用しない施設について、市民グループ・企業等に貸出を行った。（原則有料）

レディスもじ 令和元年度貸室利用人数 52,941人

《参考：総利用者数 63,205人（うち主催事業参加延人数 10,264人）》

レディスやはた 令和元年度貸室利用人数 26,590人

《参考：総利用者数 35,316人（うち主催事業参加延人数 8,726人）》

2 自主事業

(1) 男女共同参画センター自主事業

- ア 男女共同参画講座（英会話）
- イ 就業支援講座（医療事務講座、介護事務講座、パソコン講座 等）
- ウ 生活技術講座（夏休み親子木工教室）
- エ リプロダクティブ・ヘルス/ライツ事業（シェイプアップヨガ 等）

(2) 勤労婦人センター自主事業

- ア 就業支援講座（資格取得講座、パソコン講座 等）
- イ 生活技術講座（英会話 等）
- ウ リプロダクティブ・ヘルス/ライツ事業（骨盤体操講座 等）

《その他事業Ⅰ：北九州市大手町ビル維持管理事業》

【概況】

北九州市大手町ビル（北九州市立男女共同参画センター以外）の施設・設備の保守点検及び修繕による維持管理、並びに光熱水費の管理を行うとともに、北九州市大手町ビルの入居団体との施設の維持管理、防災、環境などに関する連絡、調整を行った。

《その他事業Ⅱ：北九州市立男女共同参画センター等の公益目的 以外の貸与事業》

【概況】

北九州市立男女共同参画センター及び北九州市立勤労婦人センター(東部・西部)において指定管理事業の一環として、公益目的以外に使用する団体等に施設の貸与を行った。

《法人事業》

【概況】

理事会・評議員会の開催や情報システムのセキュリティ対策、個人情報保護についての職員研修の実施など、公益財団法人として適正な管理運営を行った。また、フォーラムサポーター活動の推進や賛助会員の加入を促進した。

1 理事会・定時評議員会の開催

理事会を4回（うち1回はみなし決議）及び定時評議員会を開催し、決算等の承認、理事長及び専務の職務執行状況の報告並びに役員交代等、公益財団法人の運営の根幹となる重要事項の決議等を行った。

第1回理事会	令和元年6月4日開催
第2回理事会	令和元年6月26日みなし決議
第3回理事会	令和2年1月8日開催
第4回理事会	令和2年3月2日開催
定時評議員会	令和元年6月26日開催

2 情報システムのセキュリティ対策及び職員研修の実施

情報システムの管理について、随時セキュリティ対策を行い、ウイルスやハッキングなどを未然に防止した。また、個人情報保護の職員研修を実施するなど、適正な管理運営に努めた。

3 フォーラムサポーター活動の推進及び賛助会員加入の促進

フォーラムサポーターと協働で事業運営を行い、フォーラムサポーター活動の推進を図った。また、多くの方々とのネットワークの拡大や財政基盤の強化を図るため、賛助会員の加入促進に努めた。

【令和元年度実績】 会費収入 465,500円

区分	年額（1口）	加入人数	加入口数
個人	3,000円	88名	88口
団体	20,000円	10件	10口
学生	1,500円	1名	1口

事業報告の附属明細書

掲載する重要なものは、ありません。

貸借対照表

法人全体

公益財団法人アジア女性交流・研究フォーラム

令和2年3月31日現在

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	59,389,311	77,088,306	▲ 17,698,995
未収金	70,277	140,982	▲ 70,705
貯蔵品	3,012,610	3,039,827	▲ 27,217
前払費用	19,800		19,800
立替金	913,350		913,350
仮払金	239,000	239,000	0
流動資産合計	63,644,348	80,508,115	▲ 16,863,767
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
定期預金	6,382	6,382	0
投資有価証券	329,339,391	329,339,391	0
基本財産合計	329,345,773	329,345,773	0
(2) 特定資産			
特定資産合計			
(3) その他固定資産			
什器備品	2,378,046	1,828,684	549,362
電話加入権	490,000	490,000	0
出資金	0	50,000	▲ 50,000
その他固定資産合計	2,868,046	2,368,684	499,362
固定資産合計	332,213,819	331,714,457	499,362
資産合計	395,858,167	412,222,572	▲ 16,364,405
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	32,122,548	42,778,047	▲ 10,655,499
前受金	1,389,810	2,300,134	▲ 910,324
預り金	644,648	1,253,345	▲ 608,697
仮受金	38,670	59,734	▲ 21,064
流動負債合計	34,195,676	46,391,260	▲ 12,195,584
2. 固定負債			
固定負債合計			
負債合計	34,195,676	46,391,260	▲ 12,195,584
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
市補助金	300,000,000	300,000,000	0
寄付金	23,166,095	23,166,095	0
指定正味財産合計	323,166,095	323,166,095	0
(うち基本財産への充当額)	323,166,095	323,166,095	0
(うち特定資産への充当額)			
2. 一般正味財産	38,496,396	42,665,217	▲ 4,168,821
(うち基本財産への充当額)	6,179,678	6,179,678	0
(うち特定資産への充当額)			
正味財産合計	361,662,491	365,831,312	▲ 4,168,821
負債及び正味財産合計	395,858,167	412,222,572	▲ 16,364,405

正味財産増減計算書

法人全体

公益財団法人アジア女性交流・研究フォーラム

平成 31年 4月 1日から令和 2年 3月31日まで

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益			
基本財産受取利息	3,603,720	3,603,720	0
基本財産運用益計	3,603,720	3,603,720	0
受取会費			
賛助会員受取会費	465,500	503,500	▲ 38,000
受取会費計	465,500	503,500	▲ 38,000
事業収益			
書籍等販売収益	1,000	1,320	▲ 320
行事等参加料収益	78,641	247,320	▲ 168,679
事業収益計	79,641	248,640	▲ 168,999
指定管理施設自主事業費収益			
受講料収益	8,902,174	9,116,152	▲ 213,978
教材費収益	2,568,196	2,995,840	▲ 427,644
雑収益	71,615	61,080	10,535
指定管理施設自主事業収益計	11,541,985	12,173,072	▲ 631,087
委託料収益			
国際協力機構委託料収益	6,012,943	6,028,605	▲ 15,662
委託料収益計	6,012,943	6,028,605	▲ 15,662
北九州市委託料収益			
北九州市委託金収益	345,159,000	341,356,004	3,802,996
北九州市委託金収益計	345,159,000	341,356,004	3,802,996
受取補助金等			
受取市補助金	42,000,000	43,468,978	▲ 1,468,978
受取補助金等計	42,000,000	43,468,978	▲ 1,468,978
雑収益			
その他雑収益	286,645	468,936	▲ 182,291
雑収益計	286,645	468,936	▲ 182,291
経常収益計	409,149,434	407,851,455	1,297,979
(2) 経常費用			
事業費			
役員報酬	4,808,995	4,791,300	17,695
給料手当	91,547,986	90,221,066	1,326,920
臨時雇賃金	73,670	1,026,130	▲ 952,460
福利厚生費	18,703,951	19,999,918	▲ 1,295,967
会議費	233,801	233,836	▲ 35
旅費交通費	3,728,213	3,872,113	▲ 143,900
通信運搬費	4,207,819	4,246,753	▲ 38,934
備品購入費	1,772,786	2,683,812	▲ 911,026
減価償却費	1,226,607	1,248,801	▲ 22,194
消耗品費	12,887,019	12,300,717	586,302
修繕費	25,198,065	22,178,319	3,019,746
印刷製本費	3,276,336	2,254,003	1,022,333
光熱水費	41,001,251	44,662,191	▲ 3,660,940
保険料	734,925	754,859	▲ 19,934
賃借料	8,842,134	9,248,875	▲ 406,741
諸謝金	13,820,631	15,643,663	▲ 1,823,032
租税公課	8,333,608	6,376,089	1,957,519
支払負担金	144,600	156,500	▲ 11,900
支払助成金	1,769,600	1,898,400	▲ 128,800
委託料	154,407,150	145,325,194	9,081,956
JICA資材費等	104,573	93,877	10,696
雑費	41,777	11,076	30,701
事業費計	396,865,497	389,227,492	7,638,005

管理費			
役員報酬	2,982,998	2,967,100	15,898
給料手当	6,194,680	8,632,039	▲ 2,437,359
臨時雇賃金	21,270	41,940	▲ 20,670
福利厚生費	2,280,397	2,027,568	252,829
会議費	2,238		2,238
旅費交通費	726,780	722,421	4,359
通信運搬費	177,020	159,692	17,328
減価償却費	59,508	59,508	0
消耗品費	172,005	128,235	43,770
修繕費		55,652	▲ 55,652
印刷製本費	199,133	346,893	▲ 147,760
光熱水費	182,091	195,990	▲ 13,899
保険料	3,663	3,627	36
賃借料	1,400,611	1,312,440	88,171
諸謝金	44,000	40,000	4,000
委託料	1,440,479	1,424,414	16,065
租税公課	85,992	85,568	424
支払負担金	474,283	398,270	76,013
雑費	5,610	23,174	▲ 17,564
管理費計	16,452,758	18,624,531	▲ 2,171,773
経常費用計	413,318,255	407,852,023	5,466,232
評価損益等調整前当期経常増減額	▲ 4,168,821	▲ 568	▲ 4,168,253
当期経常増減額	▲ 4,168,821	▲ 568	▲ 4,168,253
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計			
(2) 経常外費用			
固定資産売却損			
什器備品除却損		2	▲ 2
固定資産除却売却損計		2	▲ 2
経常外費用計		2	▲ 2
当期経常外増減額		▲ 2	2
当期一般正味財産増減額	▲ 4,168,821	▲ 570	▲ 4,168,251
一般正味財産期首残高	42,665,217	42,665,787	▲ 570
一般正味財産期末残高	38,496,396	42,665,217	▲ 4,168,821
II 指定正味財産増減の部			
基本財産運用益			
基本財産受取利息	3,603,720	3,603,720	0
基本財産運用益計	3,603,720	3,603,720	0
一般正味財産への振替額			
一般正味財産への振替額	3,603,720	3,603,720	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	323,166,095	323,166,095	0
指定正味財産期末残高	323,166,095	323,166,095	0
III 正味財産期末残高	361,662,491	365,831,312	▲ 4,168,821

正味財産増減計算書内訳表

平成31年 4月 1日から令和 2年 3月31日まで

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計			収益事業等会計			法人会計	内部取引消去	合 計
	日本及びアジア地域の 女性の地位向上を 図る事業	男女共同参画社会の 形成を推進する事業	小 計	北九州市大手町 ビル維持管理事業	男女共同参画センター 公益目的外貨与事業	小 計			
I 一般正味財産増減の部									
1. 経常増減の部									
(1) 経常収益									
基本財産運用益									
基本財産受取利息	1,801,860		1,801,860				1,801,860		3,603,720
基本財産運用益計	1,801,860		1,801,860				1,801,860		3,603,720
受取会費									
賛助会員受取会費	232,750		232,750				232,750		465,500
受取会費計	232,750		232,750				232,750		465,500
事業収益									
書籍等販売収益	1,000		1,000						1,000
行事等参加料収益	78,641		78,641						78,641
事業収益計	79,641		79,641						79,641
指定管理施設自主事業費収益									
受講料収益		8,902,174	8,902,174						8,902,174
教材費収益		2,568,196	2,568,196						2,568,196
雑収益		71,615	71,615						71,615
指定管理施設自主事業収益計		11,541,985	11,541,985						11,541,985
委託料収益									
国際協力機構委託料収益	6,012,943		6,012,943						6,012,943
委託料収益計	6,012,943		6,012,943						6,012,943
北九州市委託料収益									
北九州市委託金収益		286,584,919	286,584,919	36,852,166	21,721,915	58,574,081			345,159,000
北九州市委託金収益計		286,584,919	286,584,919	36,852,166	21,721,915	58,574,081			345,159,000
受取補助金等									
受取市補助金	27,988,321		27,988,321				14,031,679		42,000,000
受取補助金等計	27,988,321		27,988,321				14,031,679		42,000,000
雑収益									
その他雑収益	42,636	151,740	194,376				92,269		286,645
雑収益計	42,636	151,740	194,376				92,269		286,645
経常収益計	36,138,151	298,278,644	334,416,795	36,852,166	21,721,915	58,574,081	16,158,558		409,149,434
(2) 経常費用									
事業費									
役員報酬	1,802,998	3,205,997	4,808,995						4,808,995
給料手当	13,002,263	78,545,723	91,547,986						91,547,986
臨時雇賃金	6,400	67,270	73,670						73,670
福利厚生費	2,656,608	16,047,443	18,703,951						18,703,951
会議費	181,191	52,610	233,801						233,801
旅費交通費	3,118,563	809,650	3,728,213						3,728,213
通信運搬費	714,376	3,493,443	4,207,819						4,207,819
備品購入費	124,363	1,648,423	1,772,786						1,772,786
減価償却費		1,226,607	1,226,607						1,226,607
消耗品費	733,986	12,153,033	12,887,019						12,887,019
印刷費		24,054,637	24,054,637	1,143,428		1,143,428			25,198,065
印刷製本費	679,613	2,596,723	3,276,336						3,276,336
光熱水費	424,880	23,107,060	23,531,940	12,071,387	5,397,924	17,469,311			41,001,251
保険料	47,717	687,208	734,925						734,925
賃借料	1,772,615	7,069,519	8,842,134						8,842,134
贈謝金	3,200,046	10,620,585	13,820,631						13,820,631
租税公課	138,059	6,596,785	6,734,844	993,390	605,374	1,598,764			8,333,608
支払負担金	50,000	84,600	144,600						144,600
支払助成金		1,769,600	1,769,600						1,769,600
委託料	7,538,223	108,506,349	116,044,572	22,643,981	15,718,617	38,362,578			154,407,150
JICA資材費等	104,573		104,573						104,573
雑費	41,777		41,777						41,777
事業費計	36,138,151	302,153,265	338,291,416	36,852,166	21,721,915	58,574,081			398,885,497
管理費									
役員報酬							2,982,998		2,982,998
給料手当							6,194,680		6,194,680
臨時雇賃金							21,270		21,270
福利厚生費	0		0				2,280,397		2,280,397
会議費							2,236		2,236
旅費交通費							726,780		726,780
通信運搬費							177,020		177,020
減価償却費							59,508		59,508
消耗品費							172,005		172,005
印刷費							189,133		189,133
印刷製本費							182,091		182,091
光熱水費							3,663		3,663
保険料							1,400,611		1,400,611
賃借料							44,000		44,000
贈謝金							1,440,479		1,440,479
委託料							85,992		85,992
租税公課							474,283		474,283
支払負担金							5,610		5,610
雑費							16,452,758		16,452,758
管理費計	0		0				16,452,758		16,452,758
経常費用計	36,138,151	302,153,265	338,291,416	36,852,166	21,721,915	58,574,081	16,452,758		413,318,255
評価損益等調整前当期経常増減額	0	▲ 3,874,621	▲ 3,874,621	0	0	0	▲ 294,200		▲ 4,168,821
当期経常増減額	0	▲ 3,874,621	▲ 3,874,621	0	0	0	▲ 294,200		▲ 4,168,821
2. 経常外増減の部									
(1) 経常外収益									
経常外収益計									
(2) 経常外費用									
経常外費用計									
当期経常外増減額									
他会計振替前当期一般正味財産増減額	0	▲ 3,874,621	▲ 3,874,621	0	0	0	▲ 294,200		▲ 4,168,821
当期一般正味財産増減額	0	▲ 3,874,621	▲ 3,874,621	0	0	0	▲ 294,200		▲ 4,168,821
一般正味財産期首残高	9,049,314	23,989,928	33,019,242	0	0	0	9,645,975		42,665,217
一般正味財産期末残高	9,049,314	20,095,307	29,144,621	0	0	0	9,351,775		38,496,396
II 指定正味財産増減の部									
基本財産運用益									
基本財産受取利息	1,801,860		1,801,860				1,801,860		3,603,720
基本財産運用益計	1,801,860		1,801,860				1,801,860		3,603,720
一般正味財産への振替額									
一般正味財産への振替額	1,801,860		1,801,860				1,801,860		3,603,720
当期指定正味財産増減額	0		0				0		0
指定正味財産期首残高	161,583,048		161,583,048				161,583,047		323,166,095
指定正味財産期末残高	161,583,048		161,583,048				161,583,047		323,166,095
III 正味財産期末残高	170,632,362	20,095,307	190,727,669	0	0	0	170,934,822		361,662,491

財務諸表に対する注記

公益財団法人アジア女性交流・研究フォーラム

令和2年3月31日現在

1. 継続事業の前提に関する注記

継続事業を行うにあたって、重要な疑義を抱かせるような事象または状況は存在しない。

2. 重要な会計方針

(1)「公益法人会計基準」(平成20年4月11日 平成26年10月16日改正内閣府公益認定等委員会)を採用している。

(2)有価証券の評価基準および評価方法

満期保有目的の債券・・・取得原価

(3)固定資産の減価償却方法

什器備品・・・定率法

無形固定資産・・・定額法

(4)消費税の会計処理

消費税の会計処理は税込方式によっている。

3. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	6,382	0	0	6,382
投資有価証券	329,339,391	0	0	329,339,391
小計	329,345,773	0	0	329,345,773
合計	329,345,773	0	0	329,345,773

4. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に対応する 額)
基本財産				
定期預金	6,382	—	(6,382)	—
投資有価証券	329,339,391	(323,166,095)	(6,173,296)	—
小計	329,345,773	(323,166,095)	(6,179,678)	—
合計	329,345,773	(323,166,095)	(6,179,678)	—

5. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
その他固定資産			
什器備品	14,352,202	11,974,156	2,378,046
小計	14,352,202	11,974,156	2,378,046
合計	14,352,202	11,974,156	2,378,046

6. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

(単位:円)

科目	取得価額	時価	評価損益
投資有価証券			
29神奈川県20年債	200,000,000	226,900,000	26,900,000
第311回10年国債	99,755,000	100,450,000	695,000
新潟県25年度第1回公債	20,000,000	20,438,100	438,100
第61回利付国債20年	9,484,391	9,874,375	389,984
155共同発行地方債	100,000	101,000	1,000
合計	329,339,391	357,763,475	28,424,084

7. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位:円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
補助金						
市補助金	北九州市	300,000,000	0	0	300,000,000	指定正味財産
受取市補助金	北九州市	0	42,000,000	42,000,000	0	一般正味財産
合計		300,000,000	42,000,000	42,000,000	300,000,000	

8. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳
指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。
(単位:円)

内 容	金 額
経常収益への振替額	
基本財産利息(29神奈川県20年債)	2,578,000
基本財産利息(第311回10年国債)	800,000
基本財産利息(新潟県25年度第1回公債)	130,000
基本財産利息(第61回利付国債20年)	95,500
基本財産利息(155共同発行地方債)	220
基本財産利息(福岡銀行定期預金)	0
小 計	3,603,720
合 計	3,603,720

9. 関連当事者との取引の内容
該当なし
10. 重要な後発事象
該当なし

財務諸表の附属明細書

公益財団法人アジア女性交流・研究フォーラム

令和 2年3月31日現在

1 基本財産及び特定資産の明細

基本財産及び特定資産の明細は、財務諸表に対する注記に記載しているため省略する。

2 引当金の明細

該当なし。

財産目録

公益財団法人アジア女性交流・研究フォーラム

令和 2年 3月31日現在



(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)				
	現金		北九州市雑収入納付金	1,220
	普通預金	(決済)福岡銀行/北九州市庁内支店/1043638	運転資金として	9,064,699
		(指定管理)福銀/北九州市庁内支店/1142547	"	27,991,173
		(ムーブ自主)福銀/北九州市庁内支店/1150434	"	10,170,183
		(レディス自主)福銀/北九州市庁内支店/1150451	"	9,511,217
		(ムーブ自主)ゆうちょ銀行/01780-5-77422	開講講座の受講料	164,828
		(JICA管)福銀/北九州市庁内支店/1118549	運転資金として	2,485,991
	未収金	(株)アベックスほか	公益法人に係る未収金	70,277
	貯蔵品		公益目的事業に係る貯蔵品	3,012,610
	前払費用	AGC保険マネジメント(株)	令和2年分保険料	19,800
	立替金		施設使用料返金立替	913,350
	仮払金	釣り銭準備金(ムーブ)	公益目的事業に係る仮払金	179,000
		釣り銭準備金(レディス)	公益目的事業に係る仮払金	60,000
流動資産合計				63,644,348
(固定資産)				
基本財産				
	定期預金	福岡銀行北九州市庁舎内店	共有財産であり、うち50%は公益目的財産として公1事業の用に供し、50%は管理運営の用に供している	6,382
	投資有価証券	大和証券株式会社ほか	"	329,339,391
特定資産				
その他固定資産				
	什器備品	事務所内	公益目的保有財産	2,378,046
	電話加入権	NTT	共有財産であり、うち50%は公益目的財産として公1事業の用に供し、50%は管理運営の用に供している	490,000
固定資産合計				332,213,819
資産合計				395,858,167
(流動負債)				
	未払金	職員ほか	職員に対する3月分未払い給与ほか	32,122,548
	前受金		令和2年度講座受講料	1,389,810
	預り金	職員ほか	社会保険料個人負担分ほか	644,648
	仮受金	施設運営課	市設置印刷機ほか使用料	38,670
流動負債合計				34,195,676
(固定負債)				
負債合計				34,195,676
正味財産				361,662,491

監査報告書

令和2年5月15日

公益財団法人アジア女性交流・研究フォーラム
理事長 堀内光子様

監事 藤野啓介 
監事 榎尾美栄子 

私たち監事は、公益財団法人アジア女性交流・研究フォーラム定款第10条の規定により、理事長から提出された当法人の平成31年4月1日から令和2年3月31日までの事業報告及び計算書類等について、令和元年度監査を行いましたので、その方法及び結果について下記のとおり報告します。

記

1 監査の方法及びその内容

各監事は、理事等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境整備に努めるとともに、理事等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及び財産目録について監査を実施しました。

2 事業報告及びその附属明細書等の監査結果

- (1) 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、当法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- (2) 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実はありません。

3 計算書類及びその附属明細書等の監査結果

計算書類及びその附属明細書等は、当法人の財産及び損益等の状況を、すべての重要な点において適正に示しているものと認めます。

4 重要な後発事象

ありません。

以上